

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
キャリアデザイン3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	岩堀 信一			実務経験	有	職種	システムエンジニア／プロジェクトマネージャ				
担当教員紹介											
担当教員は、主に金融分野・公共分野におけるシステム開発にシステムエンジニア・プロジェクトマネージャとして従事。提案、要件定義、開発、テスト、運用のシステムライフサイクル全般に渡る実務経験有り。米国PMI認定PMP、AWS認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト、日本ディープラーニング協会G検定等の資格を有する。											
授業概要											
各自が業界研究・企業研究を行い進路決定に向けた努力を行う。業界研究・企業研究では、企業ホームページ、J-Navi、就職支援サイトなどから情報を収集しまとめる。また、『就職活動ノート』を作成し、それに沿って活動状況をチェックし指導する。進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す。さらに、朝日新聞の1面コラム「天声人語」を書き写し、時事力、読解力、語彙・文章力、集中力を鍛える。											
到達目標											
希望企業から内定をいただく（進路を決定する）ことである。主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしつかりとした勤労観、職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していくことができるようにする。また、自分の職業人生を自ら創造するキャリアデザインの重要性を理解して、目的意識を持って残り1年間の学生生活を送る姿勢を身につける。同時に社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力の向上をめざす。											
授業方法											
業界研究・企業研究においては、企業ホームページ、J-Navi、就職支援サイトなどから情報を収集しまとめる。まとめる内容は、基本的な企業情報（財務状況、業務分野、給料、福利厚生など）、就職支援サイトの人事のブログなどから推察される、必要とされる人物像、J-Naviなどの過去の受験情報、みんなの就職活動日記などの、学生視点からの就職活動報告、OB訪問、ヒアリング、その他など。不明点は担当教員やキャリアサポートセンターの職員と相談して内定に向けた努力をすること。											
成績評価方法											
レポート 20% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する（口頭・実技） 平常点 60% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。各自が就職活動を行い、内定に向けた努力をすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は成績評価ができない。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	企業ホームページ、J-Navi、就職支援サイトなどから情報を収集しまとめる										
第2回	履歴書、プロフィールシート、自己PRシートなどを見直し、作成する										
第3回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す										
第4回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す										
第5回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
キャリアデザイン3	
第6回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す
第7回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す
第8回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す
第9回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す
第10回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す
第11回	就職活動ノートに沿って個人指導／進路決定者は、資格取得のための自習をし、受験・合格を目指す
第12回	夏休み前のまとめと就職活動を継続する学生に対して注意事項を伝達する
第13回	夏休み中の就職活動（内定者は企業の研修など）に関して各自が発表する
第14回	夏休み中の就職活動（内定者は企業の研修など）に関して各自が発表する
第15回	秋の合同企業説明会に向けて企業研究（春と同様）